

礼拝プログラム

2018年2月25日

司会: 倉野兄 奏楽: 石塚姉 通訳: 石塚兄

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈祷: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「あなたのからだについて」
"Regarding your body"

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝祷: * Benediction

アッシャー: 福島姉、ピアス姉

グリーター: プロクター姉、ランドール姉

ナーサリー: テリケス姉、スタンクリフ姉

チルドレンチャーチ: 西井姉、奏姉

セキュリティー: 西井兄

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のまままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。
Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

来週、4日の礼拝

司会: 大野兄 奏楽: 大倉姉 通訳: ジャンカー姉

メッセージ: 「神に喜ばれ、自分も喜ぶ」

賛美: 新聖歌21、LP86

アッシャー: 川久姉、スカーレット姉

グリーター: アーリー姉、石井姉

ナーサリー: 大倉姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: 川久姉、奏姉

セキュリティー: 大野兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定

コーヒー、スモールグループ、ゴスペルフラ練習

■本日の礼拝によくそいっらっしゃいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■イースターピクニック(3月25日)に向けて毎日曜日のゴスペルフラの練習が始まっています(12時30分-2時、ランチあり)。また子供(5歳-14歳対象)のフラレッスンが3月4日、11日、そして18日の午後12時より12時半まであり、大人同様にイースターピクニックの時にダンスを踊ります。希望者ははスコット恵子姉まで。

■今週、金曜日、午後一時からバーンズ真佐子姉の思い出を語り合う会を教会でもちます。

■3月18日(日)、正午から会堂でサウンドボード操作のトレーニング会をもちます。バックアップも含めて常時、数人がスタンバイできたらと願っております。

■3月30日(金)、午後7時よりグッドフライデー礼拝をもちます。昨年のように今年もイエス様の十字架の七つの言葉を七人の人がシェアする時といたく願っています。今年、日本語部に割り当てられている言葉は以下の通りです(ルカ23:34は担当者が決まりました)。●『婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です』。●『ごらんなさい。これはあなたの母です』(ヨハネ19:26-27)。●『わたしはかわく』(ヨハネ19:28)

●『父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます』(ルカ23:46)。心に示される言葉がありましたら、牧師までお申し出ください。

■4月1日(日)のイースター礼拝にて洗礼式、入会式を予定しています。洗礼、入会を考えていらっしゃる方はお気軽に牧師、執事までお申し出ください。

今週の予定

28日(水)	水曜集会	19:30-
1日(木)	木曜集会	10:30-
2日(金)	バーンズ姉思い出を語る会	13:00-
3日(土)	賛美チーム練習	10:00-
4日(日)	カレーランチ、合同執事会	

落書不慮

『まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう』(マタイ6章33節)

「仕事は忙しい人に頼め」と言われます。その真意を考えてみました。きっと時間のある人は「時間があるから」ということを口実に、頼まれていることを先延ばしにしてしまい、また、あれもこれも引き受けてしまい、いつまでたっても託されることが終わらないということなのかなと思いました。

それに対して忙しい人は限られた時間の大切さをよく知っており、その時間内に事を成すためには、なにかから取りかかるべきか、さらには自分がすべきこと、すべきではないことを常に見極めようと努めており、それゆえに託されたことも期限のうちに終えることができるのではないかと思われました。

ホリデーインの創設者の一人、ビル・ワトソンは晩年になって30代、40代のビジネスマンの朝食会でこう語りました。「確かに私はアメリカの偉大な会社の一つを建て上げた。しかし、そうするため、私は事の優先順位を誤ってしまったようだ」。そう言って彼は後悔の涙と共に、最後にこぶしを握り締めて、聴衆に向かい言いました。

「諸君！聖書が言うところの優先順位に従って生きることを学びたまえ！」

優先順位を知る時に私達は何をすべきかということが明確になります。そして、この優先順位を決める基準となるのが聖書の言葉なのです。この言葉を通して、私達は何に価値を置いて生きていけばいいのかということを知り、それを軸に生き方が定まってくるのです。

『わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに・・・』(ピリピ3章8節)